

## 「エコシティたかつ」推進方針の見直しについて

### 見直しの趣旨

平成30年度に推進方針策定から計画期間とされている10年目を迎える。また、この間に、「川崎市地球温暖化対策推進基本計画」や「生物多様性かわさき戦略」等、「エコシティたかつ」推進方針と関連が深い全市レベルの計画等が策定・改定されていることから、それらの内容を踏まえつつ、今後の取組に向けて、必要な見直しを行う。

### 見直しのポイント

「エコシティたかつ」推進方針で掲げている基本理念や基本目標の達成に向けては、長期的なスパンで取組を進めていく必要があり、「川崎市地球温暖化対策推進基本計画」や「生物多様性かわさき戦略」等の全市レベルの計画等で示されている方向性とも合致していることから、基本理念や基本目標は変更しない。

しかし、「エコシティたかつ」推進方針策定からこれまでの間に「川崎市地球温暖化対策推進基本計画」や「生物多様性かわさき戦略」等の全市レベルの計画等が策定・改定され、「エコシティたかつ」推進方針で基本目標として掲げる「地球温暖化緩和策」「地球温暖化適応策」「生物多様性保全」の3つの柱が全て全市レベルの計画等の中に含まれたことから、「エコシティたかつ」推進方針の位置づけを改める。

### 「エコシティたかつ」推進方針（改定版）の位置づけ

- 自治基本条例・環境基本条例の趣旨を踏まえ、川崎市総合計画等の全市レベルの計画や区レベルの計画・事業と連携した高津区の計画要素を含んだ方針
- ↓
- 川崎市総合計画や川崎市地球温暖化対策推進基本計画等の関連が深い全市レベルの計画を踏まえ、区レベルで取組を進める際の方向性と推進体制について定め、計画要素は含まない方針

### 推進体制としての推進会議のあり方について

「エコシティたかつ推進会議は区役所が設置し、市民・事業者・専門家などが参加する仕組みとなっているが、将来的には推進会議を市民と区役所との協働運営として、様々な主体による対話と協働、調整の場としての役割を担うことが期待される」と現行方針にも記されており、多様な主体との連携・協働による取組をより一層進めていくための「次の一歩」の仕組みを推進会議での議論を通して盛り込んでいくことが望ましい。

### 構成案

現行版（平成21年3月）	改定版（平成31年3月）
1 「エコシティたかつ」推進方針について	1 「エコシティたかつ」推進方針について
2 たかつのまち、地球温暖化の現状	2 これまでの取組 9年間の主な取組と成果等について記載する
3 「エコシティたかつ」基本理念と基本目標	3 「エコシティたかつ」基本理念と基本目標
4 「エコシティたかつ」の実現に向けた行動計画	4 取組にあたっての基本的考え方と今後の当面の取組 既存の基本的考え方と併せて、総合計画第2期実施計画や川崎市地球温暖化対策推進実施計画（第1期）に記載されている取組を記載する
5 推進体制と計画の見直しの仕組み	5 推進体制と方針の見直しの仕組み
6 これからの検討課題	参考 当初計画で示されていた中長期的なプロジェクトの案とこれからの検討課題

### スケジュール案

- 7月 第1回推進会議
- 10月 素案作成
- 11月 第2回推進会議
- 12月 推進方針（改定版）案確定
- 3月 第3回推進会議  
推進方針（改定版）策定